



(チェリートマトのビニールハウス)



(いちごのビニールハウス)

ビニルハウスは、昭和五十四年ごろからみられるようになり、チェリートマト、ニラ、イチゴなどがつくられています。こうしてつくられたやさいは、大きなトラックにつまれば、東京や横浜など遠くの市や町へおくれます。また、近くの二本松市や本宮町の市場へも出されています。

**やさいづくりのくふう** よいやさいをつくるため、畑にたくさんのおひを入れたり、病気やがい虫ちゅうをふせぐために農やくをまいたりします。

やさいは、天こうによって多くとれたり、ほとんどとれなかったりします。そこで、天こうのえいきょうをうけにくくするために、ビニルハウスでやさいづくりをし、いつでもやさいがとれるようにくふうしていきます。